

2023年4月26日(水)第四水曜祈祷会

創世記33章1～20節

『心砕かれて』

■創世記32章13～32節 『ヤボクでの格闘』 *「イスラエル」…「神は(と)戦う」の意味

- ①ヤコブは兄エサウを恐れて、贈り物を用意し、その後にエサウに会おうとした。
- ②ヤコブはヤボクの渡し場で神の使いと格闘し、ももの関節を外され、自我を砕かれた。
- ③ヤコブは「イスラエル」という新しい名前が与えられた。彼はその場所を「ペヌエル」と呼んだ。

■創世記33章1～20節 『心砕かれて』

1. エサウとの再会(33章1～11節) *エサウが放蕩息子の父親と重なる場面。

- ①ヤボクの格闘の後、ヤコブはどのように変わっていましたか。
→
- ②ヤコブがエサウに近づくまで七回ひれ伏したのは何を表していますか。
→
- ③エサウはヤコブをどのように迎えましたか。
→
- ④エサウはどのようにしてヤコブを赦したのですか。
→
- ⑤ヤコブは自分の家族をどのように紹介していますか。
→
- ⑥ヤコブがエサウの顔を見て、「神の御顔を見ているよう」と言ったのはなぜですか。
→

2. それぞれの道へ(33章12～20節) *兄弟は和解をしても、別々の道に進んだ。

- ①エサウが「旅を続けて行こう」と提案すると、ヤコブはどうお答えましたか。
→
- ②ヤコブはどのようにしてエサウからの助け手を断ったのですか。
→
- ③ヤコブにとってカナンの地にあるシェケムはどういう場所でしたか。
→

【適用と分かち合い】

- ①ヤコブにとって、ヤボクでの格闘にはどんな意味がありましたか。
- ②「二人は泣いた」(4節)という言葉から、兄弟のどんな思いが伝わってきますか。
- ③ヤコブのエサウに対する「好意を得るための贈り物」は何に変わりましたか。
- ④あなたの長年の祈りの課題に対して、神はどのように働いてくださいましたか。

*「あなたの道を主にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。」 詩篇37:5